

不二製油グループ本社株式会社 2022 年度第 1 四半期 決算電話会議 主な質疑応答

・日時 : 2022 年 8 月 4 日 (木) 15:30~16:30
・スピーカー : 取締役 最高財務責任者 (CFO) 松本 智樹

<原料相場影響や価格改定について>

Q.パーム油の原料相場が下落しているが、2Q 以降の業績にどのような影響があると考えているか

A.原材料の安定は、業績の安定につながると考えている。事業会社によって原料の価格や在庫などが異なるため影響がでるタイミングは一律ではないが、3Q から 4Q にかけて徐々に現出してくると考えている。足元原材料が下がっているが、付加価値のある独自性の製品をしっかりと提案することで、引き続き価格対応を進めていきたいと考えている。

<販売数量について>

Q.日本の大豆加工素材事業の見通しは

A.大豆たん白素材の販売数量減や工場の稼働率低下が大豆加工素材事業の減益要因となっている。輸入調達製品の内製化や、海外輸出の強化、新規販売先の開拓などにより国内生産・販売の強化を進める。機能剤に対しては、夏場の飲料向けなど販売が伸びると考えている。

<業績見通しに対する進捗などについて>

Q.通期業績予想に対する進捗に対してはどのように考えているのか

A.連結調整等の▲6 億円に加え、中国のロックダウンや米国の物流混乱など外部要因などもあり 1Q の進捗に遅れはあるが、2Q 以降価格改定を浸透させ、また拡販を進めることで、通期計画は達成できると考えている。

Q.インフレによる節約志向がどのような影響があるか

A.不二製油の取り扱う製品は嗜好品もあることから、販売数量の弱さが出てくるリスクはある。不二製油では幅広い価格帯の製品を取り扱っており、消費動向を注視しながらニーズにあった商品提案をすることで数量を維持したい。

Q.北米の油脂新工場の今後の計画は

A.物流問題や認証遅れにより当初計画よりも販売数量が下回っているが、下期にはフル稼働を予定している。原料ポジションの管理を徹底し採算性の向上につなげる。

Q.ブラマーは今期大幅増益の計画だが、進捗は

A.1Q は計画通り進捗している。販売数量が伸びる 3Q 以降に利益が出る計画。従前のような生産ロスや供給機会ロスが出ないよう生産性の改善を図っている。販売価格は改定が進んでいることから、販売を計画とおりに進めることにより利益の確保を図る。